

野口英世よこはま顕彰会 入会案内

<https://noguchihideyo-yokohama.org/>



● 本会の目的と事業

本会は、野口英世博士の偉業を顕彰するとともに、博士ゆかりの建造物「旧細菌検査室」及び長浜検疫所の遺構である「国登録有形文化財一号停留所」及びその収蔵資料の利活用を推進することを目的とし、以下の事業を行います。

- (1) 旧細菌検査室(横浜市金沢区長浜野口記念公園内)の利活用及び野口英世博士の偉業の顕彰を図る事業
- (2) 国登録有形文化財一号停留所(横浜市金沢区海の公園内)と収蔵資料(横浜市中区よこはま新港合同庁舎横浜検疫所内)の利活用の推進事業
- (3) 次世代へ野口英世博士の偉業を伝え、科学する心を養うための事業
- (4) 野口英世博士ゆかりの各地との交流事業
- (5) 出版広報事業
- (6) その他、この会の目的達成に必要な事業



野口英世が細菌検査に従事した細菌検査室

長浜野口記念公園内に明治の姿で現存。明治28年創建、大正12年震災、大正13年原型に復元、平成9年大規模補修



海港検疫医官補の制服姿での
野口英世(22歳)
(公財)野口英世記念館 所蔵



長浜ホール
(旧事務所)

旧事務所は長浜検疫所内に明治28年創建、大正12年震災、大正13年新規設計で再建。昭和60年他の建物とともに解体。平成9年長浜ホールとして外観を中心に震災再建後の姿を現在地に復元

● 細菌検査室と野口英世・長浜検疫所

- (1) 長浜検疫所(明治29年)は、外航船舶に対し伝染症の侵入を防止するため検疫を行う施設です。
- (2) 野口英世は、明治32年、長浜検疫所の海港検疫医官補として採用されました。
- (3) 検疫医官補として採用されたその翌日に、折から入港した亞米利加丸の検疫に従事し、船倉で苦しんでいる船員から採血した血液を検疫所内の細菌検査室に持ち込み、顕微鏡検査でペスト菌を検出しました。
- (4) この出来事が野口英世の名を一躍伝染病の医師等に知らしめることとなり、世界に飛躍するきっかけとなりました。



細菌検査室・1号停留所(検疫資料館)・長浜ホールのマップ
京浜急行能見台駅・シーサイドライン幸浦駅から徒歩約15分
1号停留所(検疫資料館)は海の公園に移築復元された



国登録有形文化財長浜検疫所一号停留所(検疫資料館)
長浜の検疫所敷地内に明治28年創建、大正12年震災、大正13年原型に復元、
平成30年国の登録有形文化財(建造物)に登録、令和7年海の公園に移築復元、
シーサイドライン海の公園南口駅から徒歩約4分

《年会費》 個人会員：3,000円、団体会員：5,000円、学生会員：1,000円、
個人賛助会員：5,000円(1口)以上、団体賛助会員：10,000円(1口)以上

《申込・問合せ先》

〒180-0023

東京都武藏野市境南町2-10-21-203 ラヴィドール武藏境 染谷優児 方

野口英世よこはま顕彰会 事務局

TEL/FAX 0422-33-5837

e-mail: noguchihideyo.yokohama.org@gmail.com

★お申し込みは、〒、住所、氏名、年齢、電話、携帯電話、e-mail を事務局までお知らせください。

